

# 豊栄病院 ニュース

## 令和5年12月号

1年前の豊栄病院ニュース令和4年12月号にも掲載しましたが、新潟市北区文化会館では、“ウィンターイルミネーション・ひかりの森”と題して、シロクマの像を中心としたライトアップを行っています。昨年よりパワーアップされているようです。またそこに隣接している新潟市北区役所の芝生広場に I♥KITAKU のモニュメントが設置されました(写真下)。私(宮島)が丸山 新潟市北区長にこの写真をお見せしながら、“北区には、愛がないのですか？”と伺ったところ、KITAKU の I の位置する場所に人が立つと完成しますとおっしゃっていました。まさに、人がいなければ北区は成り立たないのだと思いました(笑)。



さて、医療を取り巻く状況は厳しく、医療再編などのため、各病院の先行きが不透明となっています。また、来春からの病院の収入のもととなる診療報酬が場合によればマイナス改定とされる可能性があります。当院は、平成11年度から令和2年度を除き現在まで、黒字運営で推移していますが、来年度は、電子カルテに移行し、MRIの更新を行うなどお金がかかる事業があり、収支は厳しそうです。他の病院や、開業医の先生方、高齢者施設の方々などと緊密な関係を続け、また区役所や地元消防局などと連携を取りながら、この地域の医療・福祉・保健を、そしてこの地域全般を守り、健全な病院運営をしていきたいと思っております。



私、宮島は、毎年秋になると、主に新潟県内の紅葉の名所3~4か所を訪ねています。今年は、週末の天候があまり良くなく、遠出はしませんでした。豊栄在住の私にとって、車で15分くらいで行ける市島邸宅や30分くらいの清水園は貴重な存在です(上写真:清水園;黄色の紅葉が美しいです)。

「少産・少死・長寿」を達成した理想郷はどこに？



パプアニューギニアの公衆衛生女性医師のコカさんは「私たちは、多産・多死・短命と闘っている」という。彼女からみると、日本は真逆である。「少産・少死・長寿」を達成した理想郷のほすなのに、なぜ問題点ばかり指摘するのか不思議で仕方ないという。長寿を達成した日本の「健康とウェルビーイング」を世界に発信していきたい。

さて、11月25日全国厚生連病院長セミナーで、4年ぶりに東京に出張してきました。例年より紅葉が遅く、セミナー会場近くの御茶ノ水のイチョウ並木はまだ色づいておらず残念でした。さて、日本の母子手帳を世界に広めた中村安秀大阪大学名誉教授が行った“プラネタリーヘルス(地球の健康)”という新しい視座”という講演では、上記のようなスライドが出されました。このスライドを見て、日本の少産・少死・長寿をプラスと思う発想も必要なのではないかと考えました。

発行責任者・文責;豊栄病院病院長 宮島 透

豊栄病院 (代表)

TEL 025-386-2311

FAX 025-386-2370

豊栄病院 患者総合支援センター

TEL 025-386-2801 (直通)、FAX 025-386-2784